

平成30年度
事業報告書

社会福祉法人氷見市社会福祉協議会

平成30年度氷見市社会福祉協議会事業概要

★…平成30年度新規事業

担当	分野	事業名	事業概要	財源		
				自主	受託	補助
総務・企画課	法人運営	市社協役員会・委員会の開催	理事会、監査会、評議員会等を開催し、市社協の運営について協議した。	○		
		市社協役員研修会の開催	役員間の情報共有を目的に、富山県福祉大会に参加した。	○		
		市社協会長表彰・かがやき賞授与式典	地域福祉活動・ボランティア活動実践で顕著な功績があった団体・個人を表彰すると共に、先駆的且つ模範（モデル）的な活動実践を行った団体・個人にかがやき賞を授与した。	○		
	地域福祉研修センター	地域福祉研修センター氷見の運営	氷見の地域福祉実践の検証と地域住民、専門職の取り組みについて検討することをねらいに、県内・県外の福祉専門職を対象とする研修企画や福祉系大学の専門職養成の実習と医療、教育関係者の実習の受け入れを行った。	○		○
		介護サービス従事者研修の開催	市内の介護サービスに携わる職員の資質向上を目的に各種研修会を開催した。	○		○
		介護講座の開催	家庭や地域で高齢者や障害者の自立支援に役立てることを目的に開催した。	○		○
		市社協職員研修の開催	社協職員の資質向上を目的に各種研修会を開催した。	○		
		福祉専門職養成実習の受け入れ	県内外の福祉専門職養成学校における社会福祉士、介護福祉士、介護職員初任者研修等の実習を受け入れた。	○		
		★都城市社協人事交流職員育成事業	職員の育成並びに新たな地域福祉実践プログラムの開発、研究に取り組むため、都城市との人事交流を行った。	○		
	地域福祉・ボランティア推進課	福祉サービス利用支援	日常生活自立支援事業	認知症高齢者、知的障害者、精神障害者等判断能力が不十分な人が、安心して日常生活を送ることができるよう利用者との契約に基づき、福祉サービスの利用援助等を行った。		○
成年後見制度利用の支援			判断能力が不十分な人（認知症、知的障害、精神障害のある方）を対象に、財産管理や法律行為（契約や財産分割）を行うための成年後見制度利用を支援すると共に、社協内体制を整備した。		○	
生活福祉資金貸付事業			失業者世帯、低所得者世帯、障害者世帯、高齢者世帯を対象に資金の貸付と必要な相談援助を行った。		○	
その他		いきいき元気館の運営・管理（指定管理者制度）	子どもから高齢者まで、幅広い世代の市民が健康やいきがいのために交流する場の運営・管理を行った。		○	
地域福祉活動の推進		地域福祉総合相談 →ほっとねっと社協	市民のあらゆる悩みごとの相談に応じ、必要に応じ関係機関と連携し、市民の生活課題の解決に向けての支援を行った。		○	
		地区社会福祉協議会連絡会議の開催	市内21地区社協の取り組みの紹介や各地区で抱えている課題やニーズなどの情報交換を行った。（7月、11月、2月）		○	
		地区社協トップセミナー	地区社協の役員を対象に、地区社協の役割理解の共通認識を深めることと、今後の地区社協のあり方などを検討する研修を実施した。（3月7日）		○	○
		ふれあいコミュニティアネット21事業	21地区社協を単位として、シルバー談話室等の集合型地域福祉活動と地域住民による個別支援活動（ケアネット活動）を通じて、誰もが安心して暮らし続けられる地域づくりを進めた。		○	○
		地域ボランティア活動の支援	職員のエリア担当制を生かし、地区社協や小地域で行われるボランティア活動などの地域福祉活動が活発化するよう支援した。		○	○
		生活支援サービス車両提供事業	買い物支援や移動支援を実施する地区社協へ車両の貸し出しを行うと共に、老人休養ホーム寿養荘の利用者、特に送迎利用者も同様の支援が必要と考えられることから、寿養荘利用者を対象としたショッピングセンター等への送迎を行った。		○	○
		災害時要支援者支援体制支援の整備（原子力防災マップ等作成事業）	各地区社協単位で、災害時（避難活動時）に何らかのサポートを必要とする人を「いのちのボタン設置普及活動」を通じ把握を進めた。また、福祉マップを土台に災害情報を記載した防災マップを作成（久目、女良地区）すると共に、避難行動要支援者等の個別支援プランを作成した。（上庄、八代地区）		○	○
		地域ボランティアコーディネーターの設置推進事業	地域内のボランティアニーズの把握、ボランティア活動者のアドバイザーとして、地域ボランティアコーディネーターの設置を推進するための環境整備を行った。		○	○
		氷見市安心生活創造事業	7地区を指定し、地域住民が抱える課題を把握し、地域で取り組める生活支援サービスの開発を検討すると共に、個人を支える福祉人材（専門職）の確保・育成の取り組みの検討、災害に強い福祉環境の整備及び個人情報の取り扱いを検討し、氷見市における安心生活の環境整備を図った。		○	

担当	分野	事業名	事業概要	財源		
				自主	受託	補助
地域福祉・ボランティア推進課	ボランティア・市民活動の促進	ボランティア総合センターの運営	地域福祉活動、ボランティア・市民活動の普及・促進を目的に、ボランティア活動者支援、ボランティアコーディネート、ネットワークの構築、ボランティア情報発信、活動プログラムの開拓、出張講座、NPO法人設立支援、各種ボランティア調査を行った。	○	○	○
		ボランティア・市民活動相談→ほっとねっとボラセン	地域福祉活動、ボランティア・市民活動に関する相談に応じ、専門機関と連携を図りながら解決に向けての支援を行った。	○	○	○
		ボランティア活動保険普及事業	ボランティア活動者が安心して活動できるための保険の紹介と加入受付、保険請求事務を行った。	○	○	○
		ボランティア寄付の普及・管理・運用	誕生日ボランティア寄付やボランティア寄付の普及を図り、各種寄付の受付を行った。	○	○	○
		ボランティア・チャレンジ・プログラムの実施	若年層にとって魅力的な活動提案の為、氷見高校生、JRC部、市内中学校、福祉施設等と協力し、主に長期休業中のボランティア体験プログラムを企画・実施することで、若年層のボランティア活動者の発掘、育成を行った。(7月～8月)	○	○	○
		福祉教育セミナーの開催	未実施	○	○	○
		ボランティアまつりの開催	ボランティア全体研修会に替わり、市民への啓蒙と併せ、ボランティア活動者にとっての情報発信の場とネットワークづくりの場として「ボランティアまつり」を実行委員会形式で開催した。また、子どもたちや親世代等若い世代にもボランティアに触れていただく機会とするため、氷見市児童館主催の氷見市こどもまつりと同日開催した。	○	○	○
		★ボランティア入門講座受講者フォローアップ事業	昨年度のボランティア入門講座の受講者が、スムーズに活動できるよう活動の様子を見守り、活動中の悩み等を相談に応じた。	○	○	○
		★ボランティアスキルアップ講座	ボランティア活動者の新規発掘と、新たな活動フィールドの開拓を目的に、ボランティア経験者、未経験者を対象とした座学と体験を交えた講座を開講し、活動を支援した。(2月～3月)	○	○	○
		★地域サロン等活動支援事業	地域ボランティアにより開催されているサロン活動の活性化と身近なところにたまり場づくりを支援するため、レクリエーション資材の貸し出しを行った。	○	○	○
		遊休品バンクEくすちゃーEかすちゃーの実施	一般の市民や企業、福祉事業所等から寄付として受け付けた物資を生活困窮者や災害被災者など、緊急的に支援が必要となった市民に対して、必要最低限の食料品や衣類等生活用品を提供した。	○	○	○
		福祉教育地域指定事業	氷見市ならではの地域ぐるみの福祉教育の実施を目指し、関係者との情報交換、互いの意識共有を図る為の検討会を開催し、プログラムの立案を行った。	○	○	○
		ボランティア総合センター運営委員会の開催	運営委員によるボランティア総合センター事業の分析・評価を行い、市民のニーズを的確に捉えた運営を行うために運営委員会を開催した。(6月、3月)	○	○	○
		施設ボランティア担当者連絡会の開催	ボランティアを受け入れる福祉施設や関連施設等の担当者を対象に、情報交換や実際にあった困難事例などを基にした事例検討を行い、受け入れ側のコーディネート能力の向上を図った。	○	○	○
		災害救援ボランティアセンター整備事業(災害ボランティアネットワークの組織化)	被災時及び災害発生時の多様なニーズに合わせて被災住民を支援する災害救援ボランティアセンターが機能するよう、行政や市内関係機関との情報交換を行い、災害ボランティア・生活支援センター立ち上げ訓練を実施した。(9月2日) また、市内での災害発生時のボランティアの導入について行政関係課と検討した。	○	○	○
こども支援課	乳幼児・児童福祉	児童館の運営(指定管理者制度)	遊びや行事を通して、児童の健全な育成と豊かな情操を養うための支援を行った。また、氷見市の児童健全育成活動の拠点となるよう地域社会及び児童福祉関係機関等との連携に努めた。	○	○	○
		地域子育て活動支援事業	地域における子育て支援環境の向上のため、地域の拠点に向き、遊びの提供をしたり、運営上の相談に応じたりする等の支援を行った。また、放課後児童健全育成事業やさんさん広場、子ども食堂などの運営に関する相談や支援を行った。	○	○	○
		ファミリー・サポート・センター事業	保護者の緊急時、乳幼児の一時預かりを社会福祉会館等で行った。また、地域での子育て支援を行い、児童福祉の向上を図った。	○	○	○
		事業所内保育所の運営	事業所の従業者や一般就業者の仕事と子育ての両立支援をすると共に働きやすい環境整備の一環として乳幼児保育を行った。	○	○	○
		乳幼児・子育て悩み相談→ほっとねっときらら	乳幼児を持つ親を対象に、家庭、地域における生活上の悩みごとの相談に応じ、専門機関との連携を図りながら解決に向けての支援を行った。	○	○	○
		学童保育サービス(放課後児童健全育成事業)	日中家に保育する者がいない小学生を対象にした児童の預かりを行った。	○	○	○
		子ども・子育て悩み相談→ほっとねっと児童館	子どもや子育て中の親を対象に、学校・家庭・地域における生活上の悩みごとの相談に応じ、専門機関との連携を図りながら解決に向けての支援を行った。	○	○	○
		子育て支援スタッフ育成・発掘事業	子どもの健全育成のために地域ぐるみで子育てをする環境づくりを進めるため、子育て支援現任者のほか、子育てに関心のある者等を対象とした研修を実施することによって、子育て支援ボランティアを発掘・育成し、地域における多様な子育て支援の充実を図った。	○	○	○
学習・生活支援事業	貧困の連鎖を防ぐため、生活困窮世帯及び生活保護受給世帯等の概ね小学校5年生から高校3年生を対象に、居場所を設け、生活する力の習得や学習意欲の向上を図った。(生活困窮者自立支援制度内任意事業)	○	○	○		

担当	分野	事業名	事業概要	財源		
				自主	受託	補助
高齢者福祉サービス	高齢者福祉サービス	老人介護ホーム寿養荘の運営・管理(指定管理者制度)	高齢者等に介護の場を提供し、高齢者等の心身の健康の保持を図った。		○	
		高齢者グループリビングの運営	自宅での生活が困難な低所得の一人暮らしや高齢者世帯の方を入所対象とし、スタッフの見守りと共同生活によって安心して生活が送れるようにした。	○		○
		ほっとヘルプサービス事業(制度対象外のホームヘルプサービス)	公的サービスでは自立が困難な場合、家族に代わってホームヘルプサービスを有料で行った。	○		
		日常生活用具貸出サービス(介護保険対象外)	介護保険適用外の高齢者や障害者等に必要な福祉用具を貸し出した。(特殊寝台【電動・手動】、車いす、床ずれ防止用具)	○		
	介護保険事業	介護予防・居宅介護支援事業	要支援や要介護認定者の居宅サービス計画の策定及び連絡調整を行った。	○		
		総合事業・訪問介護事業	要支援や要介護認定者にホームヘルパーが自宅を訪問し、日常生活の世話をを行った。また、寝たきりや車椅子利用の方が安心して通院できるように送迎サービスを行った。	○		
		介護予防・訪問入浴介護事業	自宅で入浴が困難な要介護認定者に、入浴車が家庭に出向き、特殊浴槽において入浴の介助を行った。	○		
		総合事業・地域密着型通所介護事業	要支援や要介護認定者に介護予防、自立支援などの目的を持って、送迎、健康チェック、入浴、食事、レクリエーションなどのサービスを施設にて提供した。	○		
		福祉用具貸与事業	要支援や要介護認定者に福祉用具(特殊寝台、特殊寝台付属品、車いす、車いす付属品、床ずれ防止用具等12種類)の貸し出しを行った。	○		
		障害者福祉サービス	障がい者一般相談支援事業→ほっとねっと我家	専門の相談員が身体、知的、精神障害児(者)やその家族の相談に応じ情報提供をしたり、問題解決のための調整を行った。		
障がい者特定相談事業(旧障害者ケアプロジェクトサービス)	在宅の障がい者の生活全般にわたるサービス等利用計画を作成し、より自立をした在宅生活ができるよう支援した。				○	
指定障害児相談支援事業	在宅の障害児の生活全般にわたるサービス等利用計画を作成し、より自立をした在宅生活ができるよう支援した。				○	
障害者デイサービス	在宅の身体障害者が、生きがいを持って自立と社会参加ができるように通所による、生活指導、健康チェック、入浴、リハビリなどのサービスを行った。				○	
障害児デイサービス	障害児に日常生活における基本的な動作の指導、集団生活への適応訓練などを行い、障害児の主体性や社会性を育成した。				○	
障害(児)者等通所入浴サービス	心身の障害や環境の障害のため、サービスや訪問入浴サービスの利用が困難な場合に、施設への送迎を行い、専用の浴槽を利用し入浴の機会を確保した。				○	
障害者訪問入浴サービス	障害児者などに対して、特殊浴槽を利用し自宅での入浴の機会を提供すると共に、介護者の介護負担の軽減を図った。				○	
障害者ホームヘルプサービス	常時介護を必要とする在宅の身体障害者に身体介護、家事援助、外出時における移動中の介護を行い、障害者の自立支援及び家族の介護負担の軽減を図った。				○	
ふくし相談サポートセンター	生活困窮者自立相談支援事業	経済的困窮者や複合的な課題を持つ世帯を対象とし、相談支援業務を担当し、従来の福祉分野を超えた多職種で支援するためのマネジメント及び就労に向けた環境整備を行った。			○	
	被保護者就労支援事業	被保護者からの就労に関する相談に応じ、履歴書の書き方や面接の受け方の指導、公共職業安定所への同行訪問等の支援を行うと共に、求人開拓等関係機関や団体等において、就労支援の連携体制を構築を目指した。			○	
	家計相談支援事業	収入(賃金や公的年金等)と支出のバランスが崩れることによって様々な生活課題を抱えている生活困窮世帯等を対象に、家計状況を整理するなど、収入と支出のバランスが保たれるよう支援を行い、関係する生活課題の解決を図った。*生活困窮者自立支援制度内任意事業			○	
	学習・生活支援事業	再掲(子ども支援課と協働で実施)			○	
	基幹相談支援事業	障害児・者に対応する相談支援事業所が抱える困難ケースへのアドバイス及び介入をはじめ、人材育成・各機関とのネットワークづくりや市民の障害に対する理解促進及び当事者の権利擁護体制の構築等の環境整備を行った。			○	
	地域セーフティネット活性化事業	虐待、サービス拒否(支援拒否)等、社会的孤立に陥る可能性のある市民を早期に発見し、適切な支援を行うためのセーフティネットを構築することを目的とし、コミュニティソーシャルワーカー(CSW)の配置、各種研修、先進地視察の実施を通じて、「ささえあい ふれあい 絆が深まる福祉社会」(第3次地域福祉計画 福祉社会像)の実現を目指した。			○	
	地域福祉活動サポーター(見守り・相談力向上研修)事業	水見市が目指すセーフティネットの構築に関連し、①地域住民からの相談対応に応じる担い手となる人材育成(特に相談に対応できる能力や地域内の困りごとを発見できる能力習得)。②地区内での相談を受け付ける場づくりや、相談を地区内関係者間での共有方法と地区内での支援につなぐ仕組みづくり、コミュニティソーシャルワーカーなどへつないでいく仕組みづくりをモデル地区を指定し構築を目指した。			○	
	第1層生活支援コーディネーター設置事業	市全域を活動エリアとする第1層生活支援コーディネーターを1名配置し、高齢者の生活支援・介護予防の基盤整備を推進していくことを目的とし、地域において、生活支援・介護予防サービスの提供体制の構築に向けたコーディネートを行った。			○	
チームプロジェクト	災害・リスクマネジメントPT	大規模災害にも対応できる体制づくりの検討を行った。また、法令順守と苦情の共有などを通しリスクの抽出を行い、リスクマネジメントの習慣を身に付ける。			○	
	人材育成PT	総合相談支援システムの一層の充実と組織としての機能向上を目指し、相談支援の仕組みについて検討した。			○	
部会	職員のエリア担当制の実施	職員でチームを作り、それぞれ担当地域へ入り込み、地域住民と共に生活ニーズの把握・解決のための支援を行った。			○	
	広報「水見の福祉」の発行・充実	地域福祉の最新情報など市民が求めている情報の提供を行った。(全戸配布)			○	

事業活動の概要

I 総務企画課

1. 法人運営

(1) 役員会の開催

開催日	会議名	出席者	協議事項
6月6日	監査会	2名	平成29年度事業報告及び収支決算について
6月14日	第3回理事会	8名	議案第6号 事業報告について 議案第7号 決算報告について 議案第8号 次期役員候補者について 議案第9号 評議員候補者について 議案第10号 臨時従業員就業規則の一部改正について 議案第11号 平成30年度定時評議員会の招集について
6月19日	第3回評議員選任・解任委員会	2名	議案第3号 評議員の選任について
6月29日	定時評議員会	18名	議案第7号 平成29年度事業報告について 議案第8号 平成29年度収支決算について 議案第9号 監事の補充選任について
3月28日	第4回理事会	10名	議案第12号 平成31年度事業計画及び予算について 議案第13号 給与規定の一部改正について 議案第14号 就業規則の一部改正について 議案第15号 臨時従業員就業規則の一部改正について 議案第16号 平成30年度評議員会の招集について
3月28日	第4回評議員会	16名	議案第10号 平成31年度事業計画及び予算について

開催日	会議名	出席者	協議事項
12月19日	表彰選考委員会	4名	市社協会長表彰、かがやき賞被表彰者の選考、市社協会長感謝状の贈呈予定者について

(2) 会長表彰、かがやき賞、感謝状贈呈式の開催

1月12日	会長表彰	個人10名、2団体
	かがやき賞	1団体
	感謝状	該当なし

2. 地域福祉研修センター氷見

地域福祉実践の検証と地域住民、専門職の連携について検討することをねらいに、各種研修を開催し、地域福祉活動の向上を図った。

(1) 介護サービス従事者研修の開催

開催日	内容	社協内	他事業所	合計
4月18日(水)	介護保険制度の改正点	16		16
5月16日(水)	障害のある方への理解	16		16
6月21日(木)	地域の社会資源を知ろう	15	23	38
7月25日(水)	アドラー心理学から学ぶ うつ病の方への対応と支援方法	13	19	32
8月29日(水)	介護従事者のリラクゼーション法 ヨガ体験でリフレッシュ	20	13	33
9月19日(水)	薬の管理方法・薬剤師の役割	17	20	37
10月17日(水)	コミュニケーションスキルの向上	19	26	45
11月8日(木)	在宅医療の感染対策(氷見市民病院連携研修会)	14	24	38
12月19日(水)	体位交換 勉強会(体位交換機器の利用方法)	15	10	25
1月16日(水)	緊急時の対応方法	17	11	28
2月20日(水)	音楽療法とは？効果とは？	18	16	34
3月20日(水)	まとめ サービス従事者としての自分を振り返ろう	20		20
参加者合計		200	162	362

(2) 介護講座の開催

家庭や地域で高齢者や障害者の自立支援に役立てることを目的に開催した。

開催日	内容	参加人数
2月26日	高齢者の心理を理解し楽しい介護を！	17人
3月5日	認知症の方への対応について学ぼう！	16人
3月12日	すぐに役立つ介護技術	11人
合計延べ人数		44人

(3) 氷見市社協職場内研修

開催日	内容	参加人数
5月27日	前年度事業分析	24人
7月13日～8月20日	階層別職員研修基礎編	6人
8月30日	地域福祉推進計画と事業目標 (日本福祉大学 教授 原田正樹氏)	20人
10月17日	災害ニーズを紐解いてみよう	18人
2月20日、3月1日	都城市社協人事交流研修、 県外研修報告会	32人

(4)現場実習受入れ

①社会福祉士資格取得実習

実習期間	実習生所属先	人数
7月2日～8月4日	富山福祉短期大学	1人
8月20日～9月7日	立教大学	2人
2月21日～3月18日	富山国際大学	2人

②訪問介護実習

実習期間	実習生所属先	人数
8月27日～8月31日	富山福祉短期大学	1人

③現場実習

実習期間	実習生所属先	人数
7月12日～7月19日	富山県社協	2人

(5)職員派遣

派遣日	派遣先
4月4日	社協における生活困窮者支援のあり方検討委員会(全社協)
4月15日	立山町利田地区社協総会(実践紹介)
4月23日	地域共生フォーラム(香川県社協)
5月28日	生活支援コーディネーター養成研修(富山県)
6月25日	立教大学実習オリエンテーション
6月26日	富山県相談従事者研修ワーキング
6月28日	県生活支援コーディネーター養成研修
7月2,3日	専門コース別研修(ファシリテーター養成研修)
7月10日	高志支援学校こまどり分教室PTA研修会講師
7月11, 12日	専門 I におけるファシリテーター
7月26日	県相談従事者初任研修 講師 (富山県)
7月30日	ボランティア基礎講座(石川県羽咋市肩丈園)
8月5日・2月20日	いじめ問題対策連絡協議会(氷見市)
8月8日	県相談従事者初任研修 ファシリテーター 全3回 8/8、9/6、9/7 (富山県)
8月24日	生活困窮者支援後期主任相談支援員研修(ロフォス)
9月25日	しらとり養護学校PTA連合会研修会
10月10日	富山県ひきこもり対策協議会(富山県)
10月13日	県相談従事者現任研修 講師 (富山県)
10月17日	県相談従事者現任研修 ファシリテーター 全2回 10/17、11/13 (富山県)
10月25日	基幹相談支援について ケース検討 高岡市 (県圏域アドバイザー事業)
10月31日	富山県社会福祉協議会社協推進計画評価委員会(県社協)
11月1日	富山県子育て支援員研修
11月17, 18日	第6回地域包括ケア実践研修会(福井県)
11月30日	地域共生社会実現に向けた包括的支援体制構築事業研修会(北陸地区)
12月13日	県社協共生型包括ケアネットシンポジウム
12月15, 16日	ふわりんクルージョンin東京(NPO法人ふわり)
1月10日	栃木県相談支援コーディネーター研修
1月12, 13日	立教大学実習報告会
1月28日～2月5日	平成30年度主任相談支援専門員養成研修(厚労省)
2月3日	福祉フォーラム(鯖江市)
2月6日	能登北部地域共生フォーラム
2月7日	群馬県見守り支援セミナー
2月15日	長野県市町村社協中堅研修(長野県社協)
2月16日	福沢地区生活支援体制整備地域連絡会議(富山市)
2月18日	生活支援体制整備市町村担当者意見交換会(富山県)
2月22日	ソーシャルワーカー養成校連盟シンポジウム(京都)
2月23日	発達障害ペアレントメンター養成研修(県 発達障害者支援センターほっぷ)
3月12日	広島県社協生活困窮者支援社協職員研修
3月13日	広島県三原市社協生活困窮者支援職員研修
3月22日	地域福祉計画シンポジウム(全社協)

(6)視察受け入れ

開催日	視察機関	出席者数
6月15日	立山町利田地区社協	23名
6月29日	立山町地区社協	22名
7月17日	三重県津市地区社協	25名
7月19日	黒部市社協	4名
7月20日	石川県白山市蝶屋地区社協	25名
8月28日	石川県津幡町社協	10名
8月29日	岩手県内市町村社協	20名
10月11日	北海道社協	16名
10月19日	東近江市交換民教	45名
10月26日	京都府南丹市	10名
10月19日	東近江市民児協	45名
11月8日	大垣市民児協	30名
11月13日	東京通信大学	1名
12月18日	全社協	2名
1月31日・2月1日	(一社)日本老年学的評価研究機構	5名
3月20日	静岡県藤枝市社協	1名
3月20日	黒部市市議会議員	1名
3月22日	坂井市磯部地区福祉の会	16名
3月25日	射水市七美地区社会福祉協議会	25名
	合計	326名

(7)都城社協人事交流

①派遣

開催日	派遣者数
11月25日～12月2日	3名

②受入

開催日	受入者数
10月14日～10月21日	2名
2月17日～2月24日	2名

II 地域福祉・ボランティア推進課

《福祉サービス利用支援》

1. 生活福祉資金貸付制度

	平成28年度	平成29年度	平成30年度
相談実人数	20	14	18
相談延件数	81	66	70
貸付申請件数	4	5	3
貸付決定件数	4	5	3
貸付不承認件数	0	0	0
貸付決定内訳	・福祉資金4件 (緊急小口資金4件)	・福祉資金5件 (緊急小口資金5件)	・福祉資金3件 (福祉費1件、緊急小口資金2件)

2. 日常生活自立支援事業

		平成28年度	平成29年度	平成30年度
問合せ件数		7	7	12
初期相談件数		5	6	4
相談援助件数		295	791	545
契約締結件数	事業開始～前年度末利用件数	11	12	13
	新規契約者件数	2	2	3
	契約修了者件数	1	1	4
	実利用者件数	12	13	12
生活支援員	登録者数	5	7	7
	延活動回数	177	231	220

《地域福祉活動の推進》

3. ふれあいコミュニティケアネット21事業

(1) ふれあい型事業

地区社協単位に、乳幼児から高齢者までを対象にしたさまざまな地域福祉活動を展開するとともに、地域の福祉力向上を目的とした研修や広報による啓発を行った。

対象(内容等)	実施地区数	内 容
乳・幼児	19	地区サークル支援、保育園の行事協力
児童	19	とやまっ子さんさん広場運営や小学校や育友会等との連携による行事開催など
障害児・者	5	施設訪問、車椅子体験
高齢者	21	ふれあいランチサービス、シルバー談話室、配食サービス、高齢者の料理教室、敬老の集い、一人暮らし高齢者宅訪問など
世代間交流	15	三世代料理教室、三世代交流会など
広報活動	19	地区社協だよりを年1回～4回発行し、地域住民への福祉啓発を行った
その他		各種研修(健康、生活関連)、福祉調査、地区福祉大会、県内地区社協との交流

(2) ケアネット型事業

地区社協単位に、1人(家族)で生活していくことが難しい乳幼児から高齢者までを対象に、地域住民が見守りや話し相手など、できることで支援し、関連する会議や研修を開催し、地域の見守りネットワークを構築・強化した。

(2)-① ケアネット活動実績

	29年度	30年度	前年度比
チーム数	745	744	100%
協力者数	1,894	1,655	87%
延活動回数	51,590	87,611	170%

(2)-② ケアネット活動内容

見守り、話し相手、買い出し、ゴミ出し、送迎、除雪など

(2)-③ ケアネット関連研修・会議開催実績

	実施地区数	内 容
研修	21	ケアネットの現状に関する専門的知識と今後のケアネットのあり方について、講師を招いたり、グループ討議をした。
会議	21	ケアネット当事者の情報交換と新たなニーズ把握について、協議した。(地区社協役員、民生委員、ケアネットチーム員等)

4. いのちのバトン普及・災害時要援護者支援事業 5. 市社協職員のエリア担当制の実施

各地区社協単位で、災害時(避難活動時)に何らかのサポートを必要とする人を「いのちのバトン設置普及活動」を通して把握を進めた。

市社協内でチームを作り、それぞれ担当地域へ入り込み、地域住民と共に生活ニーズの把握、地域状況の把握を行った。

(1)いのちのバトン設置状況

実施地区数 (21地区)	設置人数 4,280名	エリア別 実績	水見	1,149名
			南條	2,141名
			上庄谷	468名
			灘浦	522名

(1)職員の延地域訪問回数

エリア名	延訪問回数		主な訪問内容
	29年度	30年度	
水見エリア	84回	82回	総会、研修、安心生活創造事業、サボ研等
南條エリア	185回	124回	総会、研修、安心生活創造事業、サボ研等
上庄谷エリア	113回	118回	総会、広報取材、地区サークル、ふれあいランチ、研修等
灘浦エリア	122回	132回	総会、研修、安心生活創造事業、サボ研等
合計	504回	456回	
前年度比		90%	

(2)災害時要援護者(ケアネット対象者)状況

要援護者把握数	21地区	796名
協力者数(延べ)	21地区	1,655名

6. 地区社協トップセミナーの開催

開催日時	内容	参加者
3月7日 13:00~16:00	<p>実践紹介「岡山県総社市における西日本豪雨災害時の取り組み」 実践紹介:社会福祉法人総社市社会福祉協議会 ボランティアセンター センター長 劔持 美典 氏 ひきこもり支援センター センター長 日下部 祐子 氏</p> <p>分科会 ①「総社市における住民主体の地域づくり」 実践紹介者 総社市社会福祉協議会 ボランティアセンター センター長 劔持 美典 氏 宇波地区社会福祉協議会 会長 茶谷 正清 氏</p> <p>②「個別相談支援を通じた地域づくり～横断的な総合相談支援体制～」 実践紹介者 総社市社会福祉協議会 ひきこもり支援センター センター長 日下部 祐子 氏 神代地区社会福祉協議会常任理事・水見市民生委員児童委員協議会長 高森 教昭氏</p>	地区社協関係者150名

7. 生活支援サービス車両提供事業(買い物支援サービス)

車両提供分	区分	28年度	29年度	30年度	前年比較増減
	回数	29回	22回	32回	145%
	利用者数	147人	145人	219回	151%
	サポーター数	34人	56人	74人	132%
寿養荘 買い物支援分	区分	28年度	29年度	30年度	前年比較増減
	回数	206回	205回	193回	94%
	利用者数	1,287人	1,219人	991人	81%
	平均	6.2人	5.9人	5.1人	86%

8. 安心生活創造事業

実施地区	主な取り組み	
新規	基石	<ul style="list-style-type: none"> 福祉・防災マップの作成 災害時要支援者の避難誘導訓練の実施
2年目	明和	<ul style="list-style-type: none"> 中学生以上の住民アンケートを実施 地域づくり協議会の組織化
継続地区 (3年目以降)	十二町地区	<ul style="list-style-type: none"> 小地域単位のサロン開設
	朝日丘	<ul style="list-style-type: none"> なんでも相談所の開設(週2回)チラシの作成、配布 外出支援(個別対応型)の実施
	久目	<ul style="list-style-type: none"> 事前予約型買い物支援の実施 なんでも相談取次室の開設(週2回)実施 地域の学習室を開設
	仏生寺	<ul style="list-style-type: none"> 乗合せ型外出支援『ハトムギワゴン』(月2回)の実施 全戸・全住民対象の『いのちのバトン』の実施 防災・福祉マップの作成
	女良	<ul style="list-style-type: none"> 全住民対象のサロン『楽しみサロンの』開設 いきいきフラワー活動の実施
	宮田	<ul style="list-style-type: none"> 生活便利帳の更新 地域ボランティアセンターの開設準備
	東	<ul style="list-style-type: none"> サポーターの充実を図るため、福祉推進員を増員 常設型サロン「屋下がりサロン」の開設、CSWと連携した専門相談実施
	稲積地区	<ul style="list-style-type: none"> 常設型サロン『いなづみ談笑室』を開設 福祉マップの作成、冬場の除雪体制の検討
	速川地区	<ul style="list-style-type: none"> 通院外出支援の実施 相談機能の設置検討
宇波地区	<ul style="list-style-type: none"> 「サロン・相談機能」「外出支援(年金支給日に実施)」「子育て支援(学童保育の検討)」の取り組みを検討する分科会を設置し、具体的な活動を試験的に実施 	

《ボランティア・市民活動分野》

9. 氷見市ボランティア総合センター事業

(1) ボランティアコーディネーター事業

ボランティアの連絡調整・相談により、ボランティア活動への参加を促進し活動の振興を図った。

<職員配置> ボランティアコーディネーター4人(所長含む)
<開設状況> 開館日: 年末年始(12月29日～1月3日)を除く毎日 開館時間 午前8時30分～午後10時
<運営委員会> 年2回開催 委員数12名

年度		H29	H30	前年度比
相談状況	ケース数 合計	254	223	87.8%
	希望	53	49	92.5%
	依頼	147	115	78.2%
	相談	54	59	109.3%

※日常対応は含まない

(2) ボランティアネットワーク事業

ボランティア活動者に限らず、ボランティアを推進(受け入れ側)している機関の登録を行い、情報を共有し、連携し合うことで、氷見市のボランティア活動の普及・充実を図った。

<新規登録数>	<登録者総数>	<支援機関・支援施設登録数>
個人 10人	個人 320人	支援機関 14機関
団体 4団体(延91人)	団体 174団体(延8,599人)	支援施設 20施設

(3) ボランティア保険普及事業

ボランティア活動者が安心して活動できるための保険の加入受付事務を行った。

項目	H29	H30	前年度比
ボランティア活動保険加入者数	1,857	1,919	103.3%
ボランティア行事用保険加入件数	55	62	112.7%
ふれあいサロンの保険加入者数	12,643	11,521	91.1%
ボランティア活動保険適用件数	1	0	0.0%

保険の加入者は横ばいで、保険加入が必要な一定の活動者には周知が来てきていると考えられる。保険適用は無かったが今後も事故防止と事故時の保険適用についての周知を行う。

(4) ボランティア情報発信事業

広報紙や各種メディアなどを通して氷見市民及びボランティア登録者へ情報を発信した。

<ul style="list-style-type: none"> ・広報紙「氷見の福祉」への情報掲載 ・登録者への郵送等による情報提供 ・行政チャンネル「ボランティアだより」を制作・放送 ・新聞各社へのボランティア情報の提供
--

(5) 研修会への参加

職員の資質向上を目的に各種研修会に参加した。

<ul style="list-style-type: none"> ・市町村ボランティアコーディネーター研修会(県社協) 6月14日 ・平成30年度富山県福祉教育セミナー(県社協)8月6日 ・地域福祉実践セミナー(愛知県)8月31日～9月1日 ・日本福祉教育・ボランティア学習学会全国大会第24回あいち・なごや大会(愛知県)11月24日～25日 ・平成30年市町村社会福祉協議会新任職員研修(県社協)11月30日 ・平成30年度災害福祉広域災害支援ネットワークセミナー(県社協)3月19日 ・その他地域の研修会等に参加

(6) 福祉教育推進事業

幼時からお年寄りまで、地域の中で共に生きる力を育成するために様々なプログラムを実施した。

事業名(テーマ)	開催日時	参加者数	内容(テーマ)
ボランティアチャレンジプログラム(V・C・P)	①オリエンテーション 7月16日(月・祝)14:00~16:00 この日に参加できない場合は個別対応 ②ボランティア体験 7月25日(水)~8月26日(日) ③フォローアップミーティング 8月18日(土)10:00~14:00 ④ニュースレターの発行	①16名 ②38名 23か所 ③19名 ④3回	①ボランティアの心構え、チャレンジプログラム計画等 ②市内福祉施設等での活動体験 ③活動のふりかえり、ランチパーティー ④情報発信、活動フォロー
出張ボランティアセンター	小学校 2件、 地域他 5件、 合計 7件		

(7) 各種ボランティア講座・研修開催事業

ボランティア個人・団体等のニーズに合わせた各種講座・研修を開催した。

事業名	開催日時	参加者数(内訳)	内容
災害救援ボランティア整備事業	9月2日(日) その他市及び防災担当課、地域住民との情報共有 5回	参加者数:42名 内 市内参加者 21名 市外参加者 9名 市社協職員 12名	災害救援ボランティアセンターの設置に備えて、関係機関との情報共有の他、災害ボランティア・生活支援センター設置運営訓練を実施し、災害時の支援体制、運営マニュアルの見直しを行った。 ・災害ボランティアセンターの立ち上げ ニーズ把握、ボランティア受付、マッチング、送り出し ・サテライトの設置 生活支援ニーズの把握、生活支援
ボランティアまつり	9月24日(月・祝)11:00~15:00 実行委員会の開催 5回	来場者数:約1,000名 内 運営ボランティア 20名 出店団体 16団体 ステージ発表 1団体	ボランティア活動者等で実行委員会を組織し、ボランティア活動の啓発を目的としたイベントを開催した。 子どもたちや親世代等がボランティアに触れる機会を作れるよう氷見市児童館のこどもまつりと同時開催した。 テーマ 「5感6育で楽しむひみの文化」 ステージ発表 ボランティア団体による飲食、販売、体験コーナー ボランティア相談コーナー チャリティバザー
ボランティアスキルアップ講座	①2月25日(月) 13:30~15:30 ②3月4日(月)~15日(金) ③3月19日(火) 13:30~15:30	受講者数:16名 協力団体:9団体	ボランティア活動者の裾野の拡大と福祉人材の育成、資質向上を目的に、ボランティア経験者、未経験者を対象としたスキルアップ講座を開講し、さらなる活動の充実やボランティア活動開始の支援を行った。 ①講義「ボランティア活動をわかった気に必ずなれる講義」 講師 富山短期大学 教授 関 好博 氏 ②体験「やってみよう、ボランティア」 ③グループワーク「ふりかえり」

(8)遊休品バンク「Eくすちやー・Eかすちやー」の実施

市民や団体等からの生活物品の寄付を受付、生活困窮者や災害被災者等の緊急的に支援が必要な対象者に必要な物資を提供した。

寄付(Eくすちやー)		
項目	H29	H30
受付物品等合計	489	364
受付物品	470	195
食品	19	167
受付不可物品等	29	2

受付物品の内訳

冷蔵庫、洗濯機、下着、電子レンジ、タオル、タオルケット、石けん類、暖房器具、扇風機、制服 ランドセル 紙おむつ 等

提供(Eかすちやー)		
項目	H29	H30
提供物品等合計	282	218
物品(貸し出し含む)	258	183
食品	24	35
提供不可(延)	2	5

提供物品の内訳

洗濯機、冷蔵庫、自転車、食器類、タオル、石けん類、布団、下着、靴下、ワイシャツ 等

遊休品バンクに関する視察の受け入れ(再掲)

日時	団体名	人数
10月18日	都城市社会福祉協議会	2

(9)その他の関連事業

センターとしてのその他継続事業を実施した。

事業名	開催日時	参加者数等
施設ボランティア担当者連絡会	6月26日(火)13:00~15:00	17施設 20名
ボランティア寄付金の受付	通年	現金:7件

Ⅲ こども支援課

1. ファミリーサポートセンター

(1) 会員の状況

① 依頼会員登録数

	平成29年度	平成30年度	前年比
登録者数	907人	904人	99.7%

② 協力会員数

	平成29年度	平成30年	前年比
登録ヘルパー数	18人	18人	100%

③ 地区別

エリア	ヘルパー登録人数	利用会員人数
氷見	9	281
南條	5	397
上庄谷	4	101
灘浦	0	80
市外在住登録者	0	45
合計	18	904

(2) 利用状況

① 場所別

	平成29年度	平成30年度	前年比
こども館 きらら	230	537	233%
ヘルパー宅	0	0	0%
利用者宅	1	0	0%
その他	130	20	15%
合計	361件	557件	154%

② 理由別

利用理由	きらら	ヘルパー宅	利用者宅	その他	合計
・保育施設の保育開始前の預かり	1				1
・保育施設の保育終了後の預かり	56				56
・保育施設までの送迎	1				1
・放課後児童クラブ終了後の預かり				2	2
・学校の放課後の預かり					0
・冠婚葬祭や他の子どもの学校行事の際の預かり	13			2	15
・買い物等外出の際の預かり	61				61
・兄弟姉妹の病気時の預かり	2				2
・兄弟姉妹の習い事時の預かり	26			2	28
・保護者の短時間・臨時的就労時の預かり	324			7	331
・保護者の求職活動中の預かり	45				45
・産前産後の安静時の預かり	3				3
・保護者の体調不良時の預かり	5			7	12
延べ利用者数	537	0	0	20	557

上記預かり状況内の病児・緊急対応強化事業による預かり	きらら	ヘルパー宅	利用者宅	その他	合計
* 回復期にある子どもの預かり	2				2
* 早朝(8:00以前)、夜間(18:00以降)の緊急預かり	68			2	70

(3) 情報提供

・広報誌「氷見の福祉」への情報掲載、各保育園・病院・市役所・各行政機関等へのチラシの掲示、配布

2. 事業所内保育所事業

・事業所の従業者の、仕事と子育ての両立を支援するために乳幼児の保育を行った。

・様々な状況に合わせた保育の場を確保するため、地域の保育を必要とする乳幼児の保育を行った。

(1) 事業の概要

施設の種類	事業所内保育所		
施設の名称	こども館きらら		
施設の所在地	氷見市鞍川975番地		
対象児童	児童福祉法及び子ども・子育て支援法の定めるところにより、保育を必要とする概ね0歳～2歳の児童		
利用定員	満2歳の児童	3人(うち地域枠2人)	
	満1歳の児童	3人(うち地域枠2人)	
	乳児	6人(うち地域枠4人)	
開所日・時間	月曜日から土曜日まで(日曜、祝日は休所) 7時30分～18時30分		

(2) 利用状況(月初め入所児童数)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
0歳児	0	0	0	0	2	3	3	4	4	4	4	4
1歳児	2	2	2	2	2	3	3	3	3	2	3	3
2歳児	1	1	1	1	3	3	3	3	3	2	2	2
計	3	3	3	3	7	9	9	10	10	8	9	9

3. 氷見市児童館

(1) 氷見市児童館事業

様々な遊びや体験活動を提供することで、子どもたちの健やかな成長を支援した。
定例行事の他、子どもたちと地域が結びつくことのできる行事を多く取り入れるなど、異世代交流にも力を入れた。

事業名	活動内容	協力者	開催回数	延参加者数
書き方教室	硬筆書写の上達を目的に実施した。	硬筆講師	11回	83人
将棋教室	将棋の基本を学んだ。	将棋講師	11回	44人
創作教室	竹や紙を素材とした工作活動を実施した。	氷見市児童クラブ連盟	10回	61人
お茶教室	日本古来の伝統文化に触れ、基本的な作法を習得した。	茶道講師	11回	54人
ほのぼのクッキング	生きるための基本となる『食べる力』を養う調理活動を行った。	クッキング講師	7回	158人

年間行事

事業名	活動内容	協力者	開催回数	延参加者数
地域ボランティア推進事業	クリスマスイベント	児童支援ボランティア	1回	120人
	もちつきまつり	児童支援ボランティア	1回	100人
	地域体験活動(釣り体験)	児童支援ボランティア	2回	40人
氷見市こどもまつり	協力団体、地域住民と共に企画運営し、工作活動や飲食品の販売、ゲーム等の実施	氷見市児童クラブ連盟 登録ボランティア	1回	700人
出張児童館	地域の拠点において、様々な遊びのプログラムを提供	登録ボランティア	25回	

児童館利用状況

(人)

	平成29年度	平成30年度	前年度比
幼児	4,460	4,889	109%
児童	15,412	17,354	112%
生徒	828	886	107%
大人	4,945	5,860	118%
合計	25,645	28,989	113%
開設日数	359日	359日	

(2) 放課後児童対策事業

昼間保護者のいない家庭の児童を対象に、児童の保護や健全育成の向上を図るため、氷見市児童館の1室を利用して、保護者が帰宅するまでの間、指導員により、学習指導や遊び等を通して健全育成活動を行った。

対象児童	日中家に保護者のいない東地区の1年生～3年生(定員40名)、4年生～6年生(定員19名)		
	※H27年度より、2つの学童保育を実施・・・1～3年生(ファン)、4～6年生(ジャンプ)		
開設時間	月曜日から金曜日 … 午後2時～午後10時	土・日・祝日 … 午前8時～午後8時	
開設日数	平日 205日	土・日・祝日 154日	

学年別登録者数	ファン				ジャンプ			
	1年生	2年生	3年生	合計	4年生	5年生	6年生	合計
	13人	13人	13人	39人	10人	8人	1人	19人

延利用者数	29年度	30年度	前年度比
	7,860	9,024	114%

活動内容	自主性・社会性・創造性の向上を図るため、遊びを中心とする活動の支援 ・読書 ・遊具を使った遊び ・軽運動 ・工作 ・異年齢交流活動(囲碁・将棋)等 ①遊びを通しての生活指導、健康管理と安全確保、小学校との情報交換会の実施 ②児童の活動状況の把握と家庭への連絡、親子活動の実施等 * 活動場所…児童館(ITワールド、こどもの城、工作室)・いきいきサロン、アリーナネット遊具、屋外運動広場
------	--

(3) 子育て支援ボランティア育成・発掘事業

地域ぐるみで子育てしやすい環境を作るため、子育て支援現任者や、子育てに関心のある者等を対象とした研修を実施することで、地域における多様な子育て支援の充実を図った。(延受講者数268人)

講座名	内容	講師名	参加者数
地域社会が親となる	子どもたちの現状と、里親制度について	関 勝 氏	40人
カラーコミュニケーション	心の色探し	桃井 京子 氏	34人
学校・地域との連携	具体的な事例から連携方法を学ぶ学ぶ	坂本 美奈子 氏	34人
身近な材料で作って遊ぼう	身近にある材料を使った工作	荒木 舞 氏	48人
地元の食材を使った簡単レシピ	子どもにとって優れた栄養食	山岸 博美 氏	33人
普通救命講習Ⅲ	AEDの使用法、突然のケガへの対処法を学ぶ	氷見市消防署員	52人
子どもの心を育む読み聞かせ	本の読み聞かせのコツを学	曾田 英津子 氏	27人

(4) 学習・生活支援事業

貧困の連鎖を防止するため、ひとり親世帯、生活困窮世帯、生活保護受給世帯、就学援助受給世帯等の子どもに対し、学習・生活援助を推進することを目的とし、該当世帯の子どもに対する学習・生活支援を行った。また、支援が必要な子どもや家庭に適切な支援が届くよう、関係機関とのネットワーク構築を図った。

事業名	活動内容	参加者数
D.Dスマイル塾	学習・生活支援の場を設け、週1回実施した。その際、「学習支援員」と生活支援を含めた学習のサポートをする「サポーター」を配置した。	21人(延567人)
氷見市こどもまつり参加	自分たちで企画した内容でお店を出し、接客や販売の体験を通して働くことの素晴らしさを学んだ。	10人
鍋交流会	子どもたちが、買出しから準備、片付けまでをおこない、協力することの大切さや思いやりを学んだ。	19人

IV 高齢者支援課

1. 居宅介護支援事業

介護認定を受けられた方が、安心して自宅で生活できるよう、介護支援専門員が介護サービスの調整や相談に対応しています。(介護支援専門員 5人)

(1) ケアマネジメント延件数

年度	平成29年度	平成30年度	比率
延利用件数	1,485	1,643	110%
実人数	199	202	101%
新規件数	64	58	90%
中止件数	45	39	86%

(2) 要介護度別延べ利用者数

要介護度	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
延べ人数	18	39	681	429	204	147	125	1643
構成比(%)	1%	2%	41%	26%	12%	10%	8%	100%

2. 訪問介護事業

ヘルパーが訪問し、身体介護や生活援助など、本人の意欲や能力を引き出しながら日常生活を支援しています。(提供責任者 3人 登録ヘルパー19人)

(1) 要介護度別利用者数

	実利用者数		30年度 構成比	前年度比
	29年度	30年度		
要支援1	19人	23人	11%	121%
要支援2	23人	21人	10%	91%
要介護1	48人	42人	20%	87%
要介護2	31人	31人	15%	100%
要介護3	34人	41人	20%	120%
要介護4	28人	29人	14%	103%
要介護5	20人	20人	10%	100%
合計	221人	207人	100%	93%

(2) 業務内容別集計 (利用回数)

	利用回数		前年度比
	29年度	30年度	
身体介護中心	5,096	4,811	94%
生活援助中心	2,715	3,084	113%
身体生活	509	771	151%
通院等乗降介助	1,010	1,122	111%
合計	9,330	9,788	105%

3. 訪問入浴介護サービス

特殊浴槽車が自宅に赴き、自宅での入浴機会を提供しております。
(看護師 2人、介護員5人、運転手3人)

(1) 要介護度別利用者数

区分	平成29年度	平成30年度
	実利用人数	実利用人数
要支援2	1	0
要介護1	2	2
要介護2	5	1
要介護3	7	8
要介護4	9	8
要介護5	10	9
合計	34	28

(2) 述べ利用実績

平成29年度	1019回
平成30年度	878回
前年度比	86%

4. 通所介護事業(老人福祉センター)

軽度者を対象とした寿養荘内のデイサービスセンターです。
(事業管理者1人、看護師2人、生活指導員2人、介護員3人)

(1) 実利用者数・延利用者数

	平成29年度	平成30年度	前年度比
実利用者数	51人	51人	100%
延利用者数	3229人	2987人	93%

(2) 要介護度別利用者数

要介護度	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	合計
男性	3	1	5	1	0	10
女性	12	6	14	5	4	41
合計	15	7	19	6	4	51
構成比	29%	14%	37%	12%	8%	100%

5. 福祉用具貸与事業

特殊寝台や床ずれ予防マットなど12種類の福祉用具を貸与しています。(福祉用具専門相談員 2人)
利用状況

サービス種別	延べ利用者数		前年度比
	29年度	30年度	
介護保険対象者	891 人	883 人	99%
社協福祉サービス	746 人	793 人	106%
合計	1637 人	1676 人	102%

6. 日常生活金銭管理サービス

ヘルパーを利用している方の買い物代金の預かりなど日常生活に必要な金銭等のサービスを行っています。社協独自の金銭管理サービスです。

	平成29年度	平成30年度	前年度比
実利用者数	14人	16人	114%

7. ひみサンテ(グループリビング)

寿養荘2階に自宅で生活できない低所得の一人暮らしや高齢者世帯の方がスタッフの見守りで共同生活を行っています。

利用状況

	平成29年度	平成30年度	前年度比
実利用者数	7人	10人	142%

V 障害者支援課

1. 障害者福祉センター

(1) 障害者総合相談

① 年度別相談件数

	平成29年度	平成30年度	前年度比
身体障害者	438	408	93%
知的障害者	182	213	117%
精神障害者	130	156	120%
その他	6	4	67%
年度合計	756	781	103%

② 内容別相談内訳

内容	平成29年度	平成30年度	前年度比
福祉サービス利用に関すること	335	211	63%
障害や病状の理解に関すること	98	148	151%
健康・医療に関すること	40	32	80%
不安の解消・情緒安定に関すること	149	116	78%
保育・教育に関すること	28	73	261%
家族関係・人間関係に関すること	18	40	222%
家計・経済に関すること	10	36	360%
生活技術に関すること	16	51	319%
就労に関すること	35	51	146%
社会参加・余暇活動	23	12	52%
権利擁護	4	11	100%
その他	0	0	
合計	756	781	103%

③ 計画相談支援

	平成29年度	平成30年度	前年度比
サービス利用・継続支援 (初めてサービスを利用する方の計画相談)	17	24	141%
サービス継続支援 (サービス利用のモニタリング)	28	23	82%
サービス利用支援 (サービスを変更したい方のための計画相談)	3	6	200%
合計	48	53	110%

(2) 障害区分認定調査

障害区分認定調査実人数

	平成29年度	平成30年度	前年度比
施設入所者	15	10	67%
在宅者	6	6	100%
合計	21	16	76%

(3) デイサービス

サービス別利用内訳

	実利用人数			延利用回数		
	平成29年度	平成30年度	前年度比	平成29年度	平成30年度	前年度比
通所介護	27	23	85%	1,216	1,316	108%
障害者デイ	20	20	100%	1,208	1,285	106%
障害児デイ	11	10	90%	952	791	83%
通所入浴	2	1	50%	5	6	120%
障害児通所入浴	7	6	85%	289	316	109%
合計	67	60	89%	3,670	3,714	101%

*(3)と(4)で実人数に相違が出ているのは、介護の場合、年度内に介護度が変わった場合どちらもカウントしているため障害の場合、自立訓練のサービスのみを利用している場合、区分認定の必要がないためである。

(4) 介護度、障害区分別利用内訳

区分	実利用人数			延利用回数		
	平成29年度	平成30年度	前年度比	平成29年度	平成30年度	前年度比
要支援1	1	1	100%	9	49	544%
要支援2	3	2	66%	138	144	104%
要介護1	3	4	133%	89	245	275%
要介護2	8	6	75%	495	638	128%
要介護3	3	2	66%	77	53	69%
要介護4	4	3	75%	174	57	33%
要介護5	5	5	100%	254	130	51%
介護合計	27	23	85%	1,089	1,316	121%
障害区分1	0	0		0	0	
障害区分2	0	4	400%	0	246	246%
障害区分3	4	2	50%	164	136	82%
障害区分4	3	3	100%	299	304	101%
障害区分5	1	1	100%	152	153	100%
障害区分6	4	4	100%	234	288	123%
障害合計	12	14	116%	849	1,127	132%
総合計	39	37	94%	1,938	2,443	126%

(5) 障害者ホームヘルプサービス

	平成29年度	平成30年度	前年度比
実利用者数	21人	19人	90.4%
利用日数	1517日	1706日	112.4%
延利用回数	1635回	1804回	110.3%

VI. ふくし相談サポートセンター

1 ふくし相談サポートセンターの運営

市庁舎内において、福祉介護課・子育て支援課・市社協が官民協働で行う福祉の総合相談支援窓口として、各課の申請や相談窓口で対応しつつ、「どこに相談すればよいかわからない」「制度を活用できない」「重複する生活課題を抱えている」などの相談を市社協が対応した。

(1) 相談件数実績

		29年度	30年度	前年度比
相談件数		229	204	89%
相談経路	当事者	25	33	16%*
	家族	30	28	14%*
	知人	4	4	2%*
	地域	52	30	15%*
	専門機関	57	51	25%*
	行政	61	58	28%*
支援内訳	電話	1,665	2,317	139%
	訪問	1,315	1,688	128%
	来館	500	609	122%
	その他	2,976	3,818	128%
	延支援回数	6,456	8,432	131%
主訴最終ケース	110	64	58%	
主訴最終割合	51%	30%	58%	

*相談経路のみ、相談件数に占める割合

(2) 相談内容内訳

主な相談内容(重複有)	29年度	30年度	前年度比
病気や健康、障害のこと	128	98	77%
住まいについて	23	16	70%
収入・生活費のこと	65	57	88%
家賃やローンの支払いのこと	7	3	43%
税金や公共料金等の支払いのこと	7	11	157%
債務について	12	7	58%
仕事探し、就職について	46	32	70%
仕事上の不安やトラブル	0	7	
地域との関係のこと	25	14	56%
家族関係・人間関係	41	31	76%
子育て・介護のこと	37	26	70%
ひきこもり・不登校	18	15	83%
DV・虐待	7	3	43%
食べるものがない	4	1	25%
その他	58	60	103%

2 基幹相談支援事業

障害分野における相談支援事業所の個別支援計画作成支援や困難ケースへのアドバイス及び介入をはじめ、人材育成・各機関とのネットワークづくり等市内の障害に関する環境整備を行った。

(1) 相談件数及び内容実績

	29年度	30年度	前年度比
相談件数	99	95	96%
延支援回数	4,015	4,588	114%
病気や健康、障害のこと	76	56	74%
住まいについて	12	6	50%
収入・生活費のこと	38	21	55%
家賃やローンの支払いのこと	3	2	0%
税金や公共料金等の支払いのこと	2	4	200%
債務について	4	1	0%
仕事探し、就職について	30	21	70%
仕事上の不安やトラブル	0	6	
地域との関係のこと	6	2	33%
家族関係・人間関係	25	14	56%
子育て・介護のこと	15	7	47%
ひきこもり・不登校	8	8	100%
DV・虐待	2	3	150%
食べるものがない	2	0	0%
その他	120	21	18%

(2) 障害種別による相談件数 ()内数字は、前年度

	精神	知的	身体	重複	難病	児童	不明
実人数	53 (71)	13 (13)	10 (11)	4 (4)	3 (2)	7 (5)	5 (6)
構成比	55.8%	13.6%	10.6%	4.2%	3.2%	7.3%	5.3%

(3) 各種会議(部会)の運営

関係機関との情報共有を行い、氷見市における障害者支援のネットワークづくり、サービスの開発・強化について会議を行った。

会議・部会名	主な内容
氷見市相談支援事業所連絡会(全12回)	日頃の相談業務で困難な事例についてアイデアを出し合い、氷見市に足りない支援について検討する。事例検討9回、研修会の情報提供などを行った。【就労部会】を定例会議にし、全6回行った。就労支援事業所の情報共有と困難なケースの検討を行った。
氷見市障害者サービス調整会議(全4回)	事例を通し、サービス利用についてや必要な事業について検討した。新規事業所の紹介をしつつ、事業所の支援を行った。関係機関の現状や課題を協議した。
発達障害を学ぶ7days(全7日間)	保健・医療・福祉(障害・保育)関係者、31名参加し、発達障害・自閉症スペクトラムある方の理解を深める目的で7日間研修を行った。オープン講座58名
障害のある人もない人も共に生きるまちづくり研修会	「人生100年時代とごちゃ混ぜ社会」と題し、佛子園雄谷理事長の講演会を開催。保健・医療・福祉(障害・高齢)関係者、91名参加し先進事例を学んだ。

3 生活困窮者自立相談支援事業

平成27年4月から施行された「生活困窮者自立支援制度」に基づき、経済的困窮者や複合的な課題を持つ世帯を対象に、相談支援業務を担当し、従来の福祉分野を越えた多職種で支援するためのメニュー及び就労に向けた環境整備等を行った。

相談件数等実績

	29年度	30年度	前年度比	
相談件数	171	151	88%	
延支援回数	4,526	5,739	126%	
ケアプラン作成	48	48	100%	
支援調整会議の開催	7	6	85%	
就労支援	105	90	86%	
緊急食糧支援	193	368	190%	
主な連携件数	住居確保給付金相談	1	2	200%
	貸付相談	11	18	163%
	生活保護相談連携	11	19	172%
	主訴最終件数	61	38	62%

4 家計相談支援事業

収入(賃金や公的年金等)と支出のバランスが崩れることによって、様々な生活課題を抱えている生活困窮世帯等を対象に、家計状況を整理するなど、収入と支出のバランスが保たれるよう支援を行い、関係する生活課題の解決を図った。

(主な取り組み)

主な内容及び成果	29年度	30年度	前年度比
生活困窮者家計相談者数	61	37	60%
同家計支援者数	13	10	77%
延支援回数	1,571	888	56%
生活福祉資金貸付相談者数	8	18	225%
同貸付支援者数	4	2	50%

5 被保護者就労支援事業

被保護者からの就労に関する相談に応じ、履歴書の書き方や面接の受け方の指導、公共職業安定所への同行訪問等の支援を行うとともに、求人開拓等関係機関や団体等において、就労支援の連携体制を構築した。

相談件数等実績

	29年度	30年度	前年度比
実相談人数	8	11	137%
就労者数	4	3	75%
相談支援件数	482	658	136%
支援プログラム作成数	20	19	95%

6 地域セーフティネット活性化事業

虐待、サービス拒否（支援拒否）等、社会的孤立に陥る可能性のある市民を早期に発見し、適切な支援を行うためのセーフティネットを構築することを目的とし、各種研修、先進地視察、セーフティネット構築検討会議の実施した。

(1) 各種研修会の企画・調整

事業名	実施日	講師	参加者数	内容
地域セーフティネット構築研修	平成30年5月15日(火)	日本福祉大学 教授 原田 正樹氏	55名	「福祉関連施策に係る国の動向や制度改正のポイント～改正社会福祉法による包括的支援体制の構築を目指して～」国が示す「地域共生社会」の本質を学び、事例検討を通じ地域・専門職・行政間、専門職・地域間の日頃の連携の在り方を考えることを目的に開催した。
地域セーフティネット構築専門研修	平成30年10月23日(火)	氷見法律事務所 弁護士 白木 謙一氏	19名	「支援する人のための成年後見制度が【わかる・使える】講座」のテーマのもと、専門職及び行政職員等を対象に、実務に役立つ成年後見制度について学ぶ研修会を実施した。

(2) セーフティネット関係会議への参画

会議名	開催回数	内容
定例会議	11回	月1回程度集い、各担当で支援している事例を出し合い、それぞれの役割や各種課題、関係する社会資源について情報共有を行うことで、庁内連携の強化を図った。
庁内コア会議	1回	市関係課職員及び市社協職員で構成し、庁内連携をスムーズに行うための情報共有や相談支援事例をとおして連携体制のルールやセーフティネット構築の実現に向け協議・検討した。
地域セーフティネット構築会議	2回	地域、専門機関、ボランティア団体等で構成し、氷見市における社会的に陥っている方(陥る可能性のある方)を早期に発見する仕組みなどの実現に向けた取組について検討した。

(3) セーフティネット活性化事業分科会の設置

分科会	目的等
権利擁護分科会	0歳から100歳の権利擁護を取り巻く課題を整理し、必要な支援体制構築を検討することを目的に設置。
災害時福祉環境	災害に開設が想定される福祉避難所の在り方、避難行動要支援者への支援のあり方と日頃の関わり、地域・専門機関・行政の災害時の連携の在り方について検討することを目的に設置。
居住支援	住宅確保要配慮者(低所得者、被災者、高齢者、障害者、子育て世帯等)に対する居住支援のあり方について、検討することを目的に設置。
相談支援体制	各種相談支援窓口間の連携強化に関する取り組みを検討することを目的に設置。(例:緊急ケア会議の在り方、事例検討、情報共有の在り方等)

(4) コミュニティソーシャルワーカー (CSW) の配置

コミュニティソーシャルワーカー (CSW) を2名配置し、訪問支援機能を高めるとともに、地域や行政・専門機関と連携し、社会的孤立状態に陥っている(陥る可能性のある人を含む)人・世帯への支援を円滑に進めた。

(4)-①相談件数実績

	29年度	30年度	前年比
相談件数	89(100%)	82(100%)	92%
当事者	11(12%)	7(8.5%)	64%
家族	5(6%)	10(12%)	200%
地域	38(43%)	26(32%)	68%
知人	2(2%)	1(1%)	50%
行政	14(16%)	24(29%)	240%
厚生センター	2(2%)	0(0%)	0%
包括プラント	4(5%)	1(1%)	25%
介護支援専門員	1(1%)	3(4%)	300%
サービス事業所	0	0	-
医療機関	2(2%)	3(4%)	150%
ハローワーク	0	0	-
弁護士	2(2%)	0(0%)	0%
市社協	8(9%)	7(8.5%)	88%

(4)-②相談内容内訳

主な相談内容(重複有)	29年度	30年度
相談件数	169(100%)	155(100%)
病気や健康、障害のこと	44(26%)	32(20.6%)
住まいについて	6(4%)	9(5.8%)
収入・生活費のこと	16(9%)	23(14.8%)
税金や公共料金等の支払いのこと	2(1%)	5(3.2%)
虐待・DV(疑い含む)	4(2%)	0(0%)
家賃・ローンについて	2(1%)	3(1.9%)
債務について	6(4%)	5(3.2%)
仕事探し、就職について	11(7%)	4(2.6%)
仕事上の不安やトラブル	-	1(0.7%)
地域との関係のこと	18(11%)	11(7.1%)
家族関係・人間関係	10(6%)	15(9.7%)
子育て・介護のこと	9(5%)	8(5.2%)
ひきこもり・不登校	6(4%)	6(3.9%)
食べられないものがない	2(1%)	-
その他	33(20%)	33(21.3%)

主な相談内容が
1つの相談・・・32件
2つの相談・・・31件
3つの相談・・・15件
4つの相談・・・4件
※相談者(世帯)の6割が
複合する 課題(悩み)
を持っている。

7 地域福祉活動サポーター(見守り・相談対応力向上研修事業)

①地域住民からの相談対応に応じる担い手となる人材育成(特に相談に対応できる能力や地域内の困りごとを発見できる能力習得)。②地区内での相談を受付ける場づくりや、相談を地区内関係者間での共有方法と地区内での支援につなぐ仕組みづくり、コミュニティソーシャルワーカーなどへつないでいく仕組みづくりをモデル地区を指定し構築を目指した。

(1) 地域福祉活動サポーターの育成研修の実施

実施日時:内容	受講者
第1回:11月22日(木)10:00～12:00 ・「地域福祉活動サポーターに期待される役割」	実受講者数:44名 委嘱者数:41名
第2回:11月27日(火)10:00～12:00 ・講義「コミュニケーション・傾聴講座①」 講師 富山国際大学 教授 村上 満 氏	※現職民生委員 以外の受講者41 名を地域福祉活動 サポーターとし て、市社協会長名 で委嘱した。
第3回:12月11日(火)10:00～12:00 ・演習「コミュニケーション・傾聴講座②」 講師 富山国際大学 教授 村上 満 氏	
第4回:12月18日(火) ・「地域福祉活動に関わる福祉制度について」	

(2) モデル地区の指定

地区名	取り組み状況
菟田地区社協 (H29年度より継続)	・地区内での事業推進についての検討 ・ふれあいランチなど既存活動にける住民の生活ニーズの聞き取り ・地区社協及び地区民児協定例会での情報共有と支援検討会の実施
神代地区社協 (新規)	・地区内での事業推進についての検討 ・相談員(地区社協役員、区長、民生委員等)の指名と住民への周知 ・ふれあいランチなど既存活動にける住民の生活ニーズの聞き取り ・相談員による情報共有と支援検討会の実施 ・相談員研修会等
加納地区社協 (新規)	・地区内での事業推進についての検討 ・ふれあいランチなど既存活動にける住民の生活ニーズの聞き取り

8 生活支援コーディネーター設置事業

高齢者の生活支援・介護予防の基盤整備を推進していくことを目的とし、地域において、生活支援・介護予防サービスの提供体制の構築に向けたコーディネートを行うことを目的に、生活支援コーディネーターを1名設置した。

《活動状況》

活動内容	29年度	30年度	前年比
①地域のニーズと資源の状況の見える化と問題提起に関する業務	81回	87回	107%
②地縁組織等多様な主体への協力依頼などの働きかけに関する業務	199回	287回	144%
③関係者のネットワーク化に関する業務	11回	7回	64%
④目指す地域の姿・方針の共有、意識統一に関する業務	16回	37回	231%
⑤生活支援の担い手の養成やサービスの開発に関する業務	6回	8回	133%
⑥その他関連する業務及び個別ケースの同行訪問等	10回	100回	1000%

VII. 施設管理(指定管理者制度)

1. 寿養荘の運営・管理

利用者状況

	29年度	30年度	前年度比
利用者数	13,681人	12,810人	94%

2. いきいき元気館の運営・管理

利用者状況

		29年度	30年度	前年度比
ホール	件数	130	111	85%
	人数	12,171	10,019	82%
大会議室	件数	253	286	113%
	人数	5,396	5,976	111%
小会議室	件数	853	857	100%
	人数	8,322	8,710	105%
トレーニングルーム	人数	318	109	34%
来館者数	人数	106,435	107,067	101%